

What is KIKIGAKI?

聞き書き甲子園をもっと知るための「6つの質問」

Q1. 聞き書き甲子園とは？

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事場を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生きる姿勢に学び、自身の将来や進路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるのかもしれない。



Q2. 「聞き書き」って何？

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対一で出会い、インタビューをします。二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。書き起こした文章は、名人の語り口を生きかしながら整理し、名人の一人語りの文体にまとめるのです。その過程で高校生は、名人の言葉を何度も繰り返し、反芻します。

ある高校生は言いました。

「名人の話は、いつの間にか自分が言いたいこと（伝えたいこと）になった」

名人が語る仕事や、名人が暮らす地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」です。しかし、作品をまとめる過程で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わるのです。その結果、高校生と名人は、本当の祖父母と孫のような深い絆を育みます。

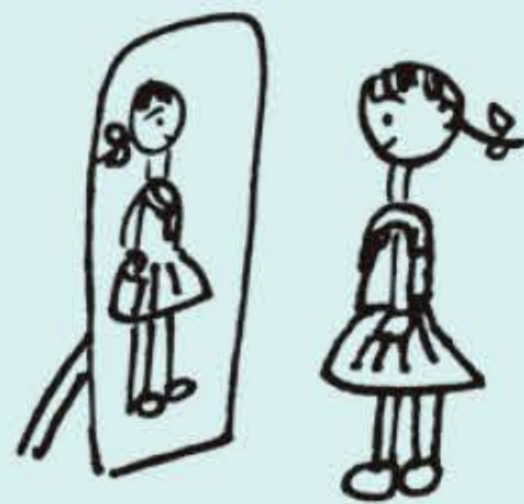
Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、どんな変化があるの？

聞き書き甲子園は、2002年（平成14年）に始まりました。参加者の累計は、もうすぐ2000人になります。これまでに参加した高校生は、全国の仲間たちや名人との出会いから、新たな一歩を踏み出しています。



視野が広がる

名人の仕事場を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がぐんと広がります。



自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻し、その人生としっかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。



未来をつくるヒントを得る

全国から参加する仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」での出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

Q4. 名人ってどんな人？

名人は、森・川・海の仕事に長年従事する中で、先人の知恵や技、心を受け継ぐ人々です。その職種は、樺（きこり）、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。「聞き書き甲子園」では、高校生の受け入れに協力する市町村から推薦いただいた名人に一対一で「聞き書き」します。



Q5. どの地域の名人に、「聞き書き」するの？

第18回開催（2019年度）より、全国の高校生の受け入れと地域の名人の推薦に協力いただく市町村（地域）を、毎年公募し、実施することになりました。高校生は、それぞれの地域から推薦いただいた森・川・海の名人を訪ね、「聞き書き」します。

【本年度の受け入れ地域】岩手県西和賀町 / 山形県小国町 / 山形県白鷹町 / 栃木県鹿沼市 / 石川県能登町 / 長野県飯田市（南信濃地区） / 岐阜県中津川市（加子母地区） / 岐阜県東白川村 / 福井県大野市 / 大阪府阪南市 / 岡山県備前市 / 長崎県大村市



Q6. 「聞き書き」について、もっと知るには？

BOOKS



聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

MOVIE



映画「森聞き」

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のドキュメンタリー映画です。上映を希望される方には、有料で貸し出ししています。

WEB



聞き書き甲子園公式ウェブサイト <https://www.kikigaki.net>

「聞き書きの本棚」では、高校生や名人に関するエピソードとともに、これまでの聞き書き作品を紹介しています。また、公式YouTubeチャンネルでは取材のしかたなどを学べる動画を公開しています。

聞き書き電子図書館

<http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>

過去の作品と名人のプロフィールを検索し、閲覧することができます。作品の全文をご覧いただくには、登録が必要です（有料）。